

モーター、EVの 基礎を学ぶ講座

袋井

浜松地域イノベーション推進機構の次世代自動車センター(浜松市中区)は二十三日、輸送機器関連企業などを対象にしたモーターと電気自動車(EV)の基礎講座の初回を袋井市の静岡理工科大で開いた。写真。来年一月まで計四回、講義や実習の場を提供し、技術や製品開発に役立ててもらおう。

十社三十人の定員に対し、今月三日の募集開始か



ら三日間で二十九社六十六人が応募。センターは一人一人までの参加に絞り、企業の枠を三倍に増やした。この日は県内と愛知県の二十八社約五十人が参加。

同大学院の高橋久特任教授が「モーターの基礎」と題して講義した。既に自動車にはエアコンのファンやワイパーなど五十〜百五十個ほどのモーターが使われていると説明し、「運転環境を良くするために今後増える」と述べた。

基礎講座では今後、モーターキットを使った実習やEVの基礎講義、ヤマハ発動機子会社のヤマハモーターパワープロダクツ(掛川市)での電動ゴルフカート工場見学を予定。センターは二〇一九年度の開催も決めている。(山田晃史)